第18講

医学・自然科学系(4)

認知症患者の対応

チャプター1

資料読解

生徒メモ欄

1　「認知症になったことを隠したがる人も多いのに，なぜ公表したのですか」という質問もよく受けます。

2　それはやはり，認知症についての正確な知識をみなさんにもっていただきたかったから。認知症の人は，悲しく，苦しく，もどかしい思いを抱えて毎日を生きているわけですから，認知症の人への接し方をみなさんに知っておいてほしかったのです。付け加えていえば，認知症を理解して支える存在や，その仕組みが絶対に必要だと思ったからです。

3　「大丈夫ですよ，私たちがそばにいますから安心してください」。そんなメッセージをその人に届けてくれる存在や仕組みがあったら，認知症の人はどんなに安心するでしょう。また，認知症の人をたんに見守るたけでなく，寄り添い，ともに歩んでいきましょうという取り組みがあったら，どんなに勇気づけられるでしょう。実際，そんな先駆的な取り組みをする自治体も出てきていると聞きます。

[中略]

4　ボクは認知症の臨床や研究を半世紀にわたって続けてきました。でも，自分が認知症になって初めてわかったことがいくつもあります。本章ではそれをお伝えしたいと思います。

5　まず何よりもいいたいのは，これは自分の経験からもはっきりしていますが，「連続している」ということです。人間は，生まれたときからずっと連続して生きているわけですから，認知症になったからといって突然，人が変わるわけではありません。昨日まで生きてきた続きの自分がそこにいます。

©RECRUIT
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

⑥　それから，認知症は「固定されたものではない」ということです。普通のときとの連続性があります。ボクの場合，朝起きたときが，いちばん調子がよい。それがだいたい，午後一時ごろまで続きます。午後一時を過ぎると，自分がどこにいるのか，何をしているのか，わからなくなってくる。だんだん疲れてきて，負荷がかかってくるわけです。それで，とんでもないことが起こったりします。

⑦　夕方から夜にかけては疲れているけれども，夜は食べることやお風呂に入ること，眠ることなど，決まっていることが多いから，何とかこなせます。そして眠って，翌日の朝になると，元どおり，頭がすっきりしている。

⑧　そういうことが，自分が認知症になって初めて身をもってわかってきました。認知症は固定したものではない。変動するのです。調子のよいときもあるし，そうでないときもある。調子のよいときは，いろいろな話も，相談ごとなどもできます。

⑨　もちろん，人によって認知症のタイプも症状の現れ方もいろいろで，全部が全部，ボクのようではないかもしれません。しかし，専門医であるボク自身，認知症はなったらそれはもう変わらない，不変的なものだと思っていました。これほどよくなったり，悪くなったりというグラデーションがあるとは，考えてもみなかった。だから，認知症といってもいろいろで，ボクのようなケースもあるということを，そして，いったんなってしまったら終わりではないということを，みなさんにぜひ知ってもらえたらと思います。

⑩　固定したものではないわけですから，ひとたび認知症になったら「もうだめだ，終わりだ」などと思わないでほしいし，周囲も，「何もわからなくなってしまった人間」として，一括りにしないでいただきたいのです。

［中略］

⑪　認知症への理解はかなり進んできましたが，それでも，認知症と診断された人は「あちら側の人間」として扱われていると思うことがあります。こちら側の人間だと思っている人たちは，あちら側の人間はまともに話ができないとか，何をいってもわからないなどといったりします。認知症の人の前で，平気でそうしたことを口にし，人格を傷つけるようなことが話されている場合もあります。

⑫　でも，それは間違いです。話していることは認知症の人にも聞こえているし，悪口をいわれたり，はかにされたりしたときの嫌な思いや感情は深く残ります。だから，話をするとき

生徒メモ欄

©RECRUIT
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

生徒メモ欄

には注意を払ってほしいと思います。認知症の人が何もいわないのは,必ずしもわかっていないからではないのです。

⑬　存在を無視されたり,軽く扱われたりしたときの悲しみや切なさは,誰もが大人になる過程で,そして大人になってからも,職場や家庭で多かれ少なかれ体験していることでしょう。そうしたつらい体験がもたらす苦痛や悲しみは,認知症であろうとなかろうと,同じです。

⑭　何かを決めるときに,ボクたち抜きに物事を決めないでほしい。ボクたちを置いてきぼりにしないでほしいと思います。

（長谷川和夫・猪熊律子著「ボクはやっと認知症のことがわかった」KADOKAWA 一部改変）

（2021年度　北里大学　医学部）

©RECRUIT
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

生徒メモ欄

教員記入欄

©RECRUIT
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

チャプター2

問題およびヒント

問題を見てみよう

認知機能の低下した患者に対する医療において，あなたが重要と考えること，医師としてどう対応すべきかを800字以内で述べよ。

解答案をつくってみよう

©RECRUIT
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

500

600

700

800

（　　　　字）

生徒メモ欄

教員記入欄

ⒸRECRUIT
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

評価してみよう

答案が完成したら、以下の表を用いて自己評価をしてみましょう。
5段階評価の基準は、巻末のルーブリックを参照してください。

設問の理解	出題の意図および背景の理解	S	A	B	C	F
意見(主張)	設問と意見との関係	S	A	B	C	F
	独自性・独創性・発展性	S	A	B	C	F
理由(根拠)	事実に基づいた論証	S	A	B	C	F
	重要性・問題性	S	A	B	C	F
論理性・簡潔性	適切な論理展開	S	A	B	C	F
	簡潔な記述	S	A	B	C	F
表記・表現	誤字・脱字	S	A	B	C	F
	段落の設定	S	A	B	C	F
	制限字数	S	A	B	C	F
	文体の統一	S	A	B	C	F
	表現技法	S	A	B	C	F

©RECRUIT
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

生徒メモ欄

教員記入欄

©RECRUIT
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

チャプター3

答案例①

　認知機能の低下した患者に対して、筆者が述べるような本人を「置いてきぼりにしない」患者の尊厳を守った医療を実現するべきである。しかし認知機能の低下により患者本人による自己発信、管理が困難な場合が多いため、医療機関間のみならず、患者の周囲の家族や他職種と連携していくことが必須である。医療は筆者のいう「認知症を理解して見守る存在や仕組み」の一つの形である地域包括ケアシステムにおいて役割を果たすことが重要だと考える。

　認知機能が低下している患者から情報を得て正しい診断を行うためには、主に開業医がかかりつけ機能を有し継続的な診療を行う必要がある。その中でも中核を担うのが総合医療専門医である。総合的知識の基に家族支援や地域に根差した日常的なプライマリ・ケアを行う。急性期には速やかに連携の高次医療機関に繋ぎ、回復期、慢性期では訪問診療を行うなど疾患の緊急度に合わせた柔軟な対応が求められる。医療は段階ごとに提供元を移動させながら、一人の患者に切れ目なく関わることが重要である。

　以上のような医療の土台の中で、医師は筆者のいうように認知症を有する患者の人生の連続性を敬った対応をすべきである。地域包括ケアにおいて介護と連携し、援助を得ながらできる限りの社会生活継続を目指すことがノーマライゼーション実現の一助となるだろう。そのため医師は患者や家族、コメディカ

©RECRUIT
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

ル以外の他職種の人々と関わる必要性が増加し、より一層のコミュニケーション能力が求められることになる。システム内の医療の中心である医師の側から、他職種とのメンタルにおけるバリアフリーを働きかけたい。開業医や勤務医などどのような次元の医療機関にあっても、患者と家族に寄り添い、これまでの日常を継続しやすいように他職種と連携して職務を全うすることで、患者の尊厳を守ることにつながると考える。

（792字）

生徒メモ欄

教員記入欄

©RECRUIT
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

評価してみよう

答案例①を、以下の表を用いて評価してみましょう。
5段階評価の基準は、巻末のルーブリックを参照してください。

設問の理解	出題の意図および背景の理解	S	A	B	C	F
意見（主張）	設問と意見との関係	S	A	B	C	F
	独自性・独創性・発展性	S	A	B	C	F
理由（根拠）	事実に基づいた論証	S	A	B	C	F
	重要性・問題性	S	A	B	C	F
論理性・簡潔性	適切な論理展開	S	A	B	C	F
	簡潔な記述	S	A	B	C	F
表記・表現	誤字・脱字	S	A	B	C	F
	段落の設定	S	A	B	C	F
	制限字数	S	A	B	C	F
	文体の統一	S	A	B	C	F
	表現技法	S	A	B	C	F

©RECRUIT
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

生徒メモ欄

教員記入欄

©RECRUIT
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

チャプター4

答案例②

　認知機能が低下した患者に対する医療において重要なことは情報提供だと考える。病巣や欠損した機能に対して直接的な加療をするのは当然のこととして、検査結果や、現在や今後の状態に対する患者の疑問と不安について適切かつ十分な説明を行うことである。

　認知症は、原因によって一部軽減が見込めるが、大概は進行していき根治しないものだ。治る見込みがない体と生きていくうえで力となるものが情報だと思うのだ。このように考えるきっかけがあった。祖父が大脳皮質基底核変性症という、徐々に日常生活に困難が生じる難病の診断を受けたことだ。医師は二つの検査で確定診断し治療の手段がないと告げたが、祖父は納得できず、他の医師にかかった。診断結果は変わらなかったが、追加の検査で他の病名ではないことを証明し、確定させるまでの医師自身の思考過程を明かしながら説明した上での告知だった。祖父の友人が集めた治験情報や漢方薬に対して効果は見込めないことは伝えつつも、周囲が祖父に心を砕いていることに「人徳ですね」と言葉を添えたと言う。今後起こりうる身体機能の低下への不安にも見通しを示してくれた。祖父は治療手段を探し求めるのを止め、生活することに前向きになった。この医師がしたことは加療ではないが、医師にしかできない医療行為であったと私は思う。

　医師として治療の限界を知っておくことは大切である。認知機能が低下した患者が失っ

©RECRUIT
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

ているのは健康ではなく、日常生活だ。外科的内科的に治療行為ができないのであれば、医師を頼って何らかの解決を望んでいる、その気持ちに応えることが医療行為になると考える。そして、認知に支障があると、とかく付き添いの家族に応対しがちになるものだが、筆者によれば状態には濃淡があるという。対面時にいずれの時でも、いつでも患者本人と、したいこととしたくないことを確認していくべきだと私は考える。

(789字)

生徒メモ欄

教員記入欄

©RECRUIT
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

評価して
みよう

答案例②を、以下の表を用いて評価してみましょう。
5段階評価の基準は、巻末のルーブリックを参照してください。

設問の理解	出題の意図および背景の理解	S A B C F
意見（主張）	設問と意見との関係	S A B C F
	独自性・独創性・発展性	S A B C F
理由（根拠）	事実に基づいた論証	S A B C F
	重要性・問題性	S A B C F
論理性・簡潔性	適切な論理展開	S A B C F
	簡潔な記述	S A B C F
表記・表現	誤字・脱字	S A B C F
	段落の設定	S A B C F
	制限字数	S A B C F
	文体の統一	S A B C F
	表現技法	S A B C F

©RECRUIT
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

生徒メモ欄

教員記入欄

©RECRUIT
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

チャプター5

レベルアップのための読書案内

本講で学んだことを元に、さらにブラッシュアップするための
おすすめの書籍情報を知り、その書籍の読み方を学びましょう。

講義メモ欄

©RECRUIT
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

生徒メモ欄

教員記入欄

©RECRUIT
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。